

-令和6年能登半島地震災害-

日本赤十字社徳島県支部の救護活動について(10)

令和6年2月19日現在
※下線部は前回からの変更部分

1. 医療救護班の派遣

日本赤十字社では、災害発生直後から全社的な救護活動を展開し、ブロックごとに被災地域で、切れ目のない救護活動を実施しています。徳島県支部の所属する第5ブロック（中国・四国ブロック）でも順次救護班を派遣しており、徳島県支部は以下のとおり医療救護班（第3班）を派遣しました。

医療救護班(第1班)の派遣

- (1) 派遣期間 令和6年1月15日（月）～1月20日（土）
（現地での活動期間は、1月16日～19日）
- (2) 派遣先 石川県七尾市、志賀町
- (3) 派遣メンバー 日本赤十字社徳島県支部医療救護班 第1班（10名）
徳島赤十字病院 医師3名・看護師3名・薬剤師1名
救護主事1名
徳島県赤十字血液センター 救護主事 1名
日本赤十字社徳島県支部 連絡調整員1名
- (4) 活動内容 避難所を訪問しての巡回診療や救護所運営等

■ 1月15日（月）



出発式の様子



救護車両3台に乗り込み、出発する医療救護班



石川県支部で状況説明を受ける
徳島県支部救護班

■ 1月16日 (火)



能登医療圏活動拠点本部に到着報告する救護班 (能登総合病院)



活動場所に向けて、物資を準備する徳島県支部救護班



業務の引き継ぎを受ける徳島県支部救護班 (感染症患者待機施設)



避難所の衛生環境を確認する救護班 (和倉小学校)

■ 1月17日 (水)



避難者の健康管理を行う看護師 (富来活性化センター)



避難所の衛生環境改善のため、段ボールベッドの組立を行う様子



感染症患者に物資を届ける救護員 (志賀町・感染症患者待機施設)



患者の健康状態等について申し送りを行う看護師

■ 1月18日 (木)



避難所の一角で診療を行う救護員



処方薬の説明を行う薬剤師



避難者の体調確認を行う看護師



避難者の診察を行う医師

■ 1月19日 (金)



避難者の体調確認を行う救護員



避難所の状況について保健師と確認する徳島県支部救護班

■ 1月20日 (土)



医療救護班 (第1班) として派遣された10名

医療救護班(第2班)の派遣

- (1) 派遣期間 令和6年1月31日(水)～2月4日(日)
(現地での活動期間は、2月1日～3日)
- (2) 派遣先 発災直後から中四国ブロックで切れ目なく支援を行っている石川県七尾市
- (3) 派遣メンバー 日本赤十字社徳島県支部医療救護班 第2班(10名)
徳島赤十字病院 医師3名・看護師3名・薬剤師1名
救護主事1名・連絡調整員1名
徳島県赤十字血液センター 連絡調整員1名
- (4) 活動内容 避難所を訪問しての巡回診療等

■ 2月1日(木)



血圧測定を行う看護師



避難者の不安を傾聴する救護員



避難所訪問前に避難者の健康状態を確認する救護員



診療する避難者のもとに向かう救護員

■ 2月2日(金)



避難者の不安を傾聴する救護員

■ 2月3日 (土)



地元のコーディネーターから話を聞く救護員



避難所対応本部を立ち上げる救護員



医療救護班 (第2班) として派遣された10名

医療救護班(第3班)の派遣

- (1) 派遣期間 令和6年2月13日(火)～2月17日(土)
(現地での活動期間は、2月14日～16日)
- (2) 派遣先 石川県七尾市、宝達志水町
- (3) 派遣メンバー 日本赤十字社徳島県支部医療救護班 第3班 (8名)
 - 徳島赤十字ひのみね医療療育センター
医師1名・看護師3名・薬剤師1名・救護主事1名
 - 徳島赤十字病院 救護主事1名
 - 徳島県赤十字血液センター 総合調整員1名
- (4) 活動内容 避難所を訪問しての巡回診療や救護所運営等

■ 2月13日 (火)



出発式の様子



救護車両2台に乗り込み、出発する救護班

■ 2月14日 (水)



避難者の体調確認を行う徳島県支部救護員



ブリーフィングを行う救護班



関係機関との会議に参加する徳島県支部救護班

■ 2月15日 (木)



避難者の体調確認を行う徳島県支部救護員



避難者の不安を傾聴する徳島県支部救護員



血圧測定を行う看護師



支援者支援のため、宮崎県支部救護員とともに宝達志水町に入る徳島県支部救護員

■ 2月16日 (金)



巡回診療のため、避難所となっている
中学校に向かう救護員



石川県支部で活動報告を行う徳島県支部救護班



医療救護班（第3班）として派遣された8名

2. 「日赤災害医療コーディネートチーム」の派遣

石川県の保健医療福祉調整本部や支部災害対策本部等において、被災地の保健医療・福祉ニーズを把握し、救護班の調整や救護活動についてのコーディネート業務を担うため、専門チーム（第2班）を次のとおり派遣しました。

「日赤災害医療コーディネートチーム(第1班)」の派遣

- (1) 派遣期間 令和6年1月10日(水)～1月15日(月)
(現地での活動期間は、1月11日～14日)
- (2) 派遣先 石川県庁(石川県保健医療福祉調整本部)
- (3) 派遣メンバー ①日赤災害医療コーディネーター
徳島赤十字病院 医師1名
②日赤災害医療コーディネートスタッフ
徳島赤十字病院 事務職員2名 (計3名)

■ 1月10日 (水)



派遣式の様子



救護車両1台に乗り込み
出発するコーディネートチーム

■ 1月11日 (木)



石川県保健医療福祉調整本部で活動する
徳島県支部コーディネートチーム



各種本部会議や避難所アセスメント等の資料
作成を行う徳島県支部コーディネートチーム

■ 1月12日 (金)



各関係機関と連携し、コーディネート業務等
を行う徳島県支部コーディネートチーム



石川県保健医療福祉調整本部で活動する
徳島県支部コーディネートチーム

■ 1月13日 (土)



関係機関との会議に参加する徳島県支部
コーディネートチーム

■ 1月14日 (日)



後続のチームに業務の引き継ぎを行う
徳島県支部コーディネートチーム



各関係機関との会議の様子

「日赤災害医療コーディネートチーム(第2班)」の派遣

- (1) 派遣期間 令和6年2月6日(火)～2月11日(日)
(現地での活動期間は、2月7日～10日)
- (2) 派遣先 石川県庁(石川県保健医療福祉調整本部)
- (3) 派遣メンバー ①日赤災害医療コーディネーター
徳島赤十字病院 医師1名
②日赤災害医療コーディネートスタッフ
徳島赤十字病院 事務職員2名 (計3名)

■ 2月6日(火)



派遣式の様子



石川県支部コーディネーターとミーティングを行う徳島県支部コーディネートチーム

■ 2月7日(水)



業務の引き継ぎを受ける徳島県支部コーディネートチーム



各関係機関と連携し、コーディネート業務等を行う徳島県支部コーディネートチーム



関係機関との会議に参加する徳島県支部コーディネートチーム

■ 2月8日 (木)



日本赤十字社社長（写真中央）に医療調整本部の活動内容を説明する徳島県支部コーディネーター



赤十字の災害救護体制を説明する様子

■ 2月9日 (金)



関係機関との会議に参加する徳島県支部コーディネータチーム

■ 2月10日 (土)



関係機関との会議に参加する徳島県支部コーディネータチーム



後続のチームに業務の引き継ぎを行う徳島県支部コーディネータチーム



石川県支部での活動報告の様子



「日赤災害医療コーディネータチーム（第2班）」として派遣された3名

4. 「こころのケア要員」の派遣

被災者の精神的なダメージ、心身の疲労、避難生活などによるストレス状態の軽減を図るため、第5ブロック（中国・四国ブロック）から「こころのケア班（中国ブロック及び四国ブロックから各1チーム）」を派遣します。徳島県支部は以下のとおり「こころのケア要員」を派遣しました。

- (1) 派遣期間 令和6年2月2日（金）～2月8日（木）
（現地での活動期間は、2月3日～7日）
- (2) 派遣先 発災直後から中四国ブロックで切れ目なく支援を行っている石川県志賀町
- (3) 派遣メンバー こころのケア要員（こころのケア指導者）
徳島赤十字病院 看護師1名
※四国各県支部の「こころのケア班」（1チーム4名）の一員として活動
- (4) 活動内容 避難所を訪問してのこころのケア等

■ 2月3日（土）



ブリーフィングを行うこころのケア班

■ 2月4日（日）



避難者に耳を傾けるこころのケア班



ミーティングを行うこころのケア班

■ 2月5日（月）



避難者の話を傾聴するこころのケア班

■ 2月6日 (火)



記録作成業務を行うところのケア班



避難者に寄り添い、話を聞くところのケア班

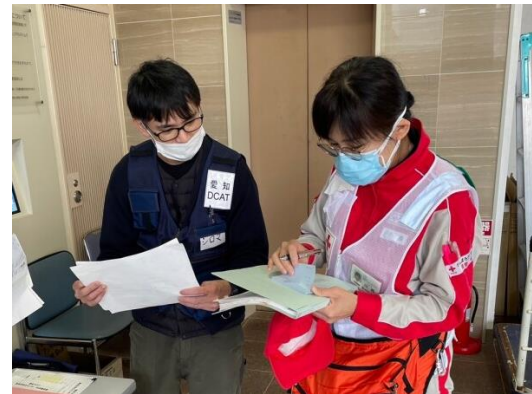


ミーティングを行うところのケア班

■ 2月7日 (水)



避難者の声に耳を傾げるところのケア班



関係者と活動内容等の確認をするところのケア班



こころのケア班（四国チーム）として派遣された徳島・高松・高知・松山赤十字病院の看護師等

5. 赤十字要支援者用段ボールベッド等の搬送

1月8日、日本赤十字社石川県支部を通じて、石川県珠洲市から当支部独自開発の要配慮者用段ボールベッド等の支援要請があり、同日、石川県支部へ向け職員2名を派遣しました。

- (1) 派遣者 日本赤十字社徳島県支部 1名
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 1名

(2) 搬送物資及び数量

- ・赤十字要支援者用段ボールベッド（要配慮者用） 30セット
- ・赤十字要支援者用段ボールベッド（乳児用） 10セット
- ・弾性ストッキング（エコノミークラス症候群予防） 500足

■1月8日（月）



徳島県支部の救護倉庫で、段ボールベッドを積み込む救護員



石川県支部に向けての出発式

■1月9日（火）



石川県の赤十字施設に段ボールベッドを搬入する徳島県支部の救護員



石川県支部職員に段ボールベッドの取り扱いを説明する当支部救護員

4. 寒冷地での救護活動用「耐冷手袋」の送付

1月16日、日本赤十字社石川県支部から寒冷地での救護活動用「耐冷手袋」の支援要請があり、同日、石川県支部へ向け発送しました。

(1) 発送物資及び数量

- ・耐冷手袋（Mサイズ） 300セット
- ・耐冷手袋（Lサイズ） 300セット



耐冷手袋の発送作業を行う
救護員（徳島県支部）



寒冷地での救護活動に活用されます

5. 義援金の募集

被災者支援活動の一つとして、次のとおり義援金を募集しています。

お寄せいただいた義援金は、その全額が被災地の義援金配分委員会を通じて、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

- (1) 名 称 「令和6年能登半島地震災害義援金」
- (2) 受付期間 令和6年1月4日（木）～令和6年12月27日（金）
- (3) 受付方法 ●日本赤十字社徳島県支部（直接持参）
徳島市庄町三丁目12-1 TEL:088-631-6000
※受付時間 平日 午前9時～午後5時まで
- 金融機関
- ・阿波銀行各店
受付口座 阿波銀行鮎喰支店 普通預金 0223116
日本赤十字社徳島県支部
 - ・徳島大正銀行各店
受付口座 徳島大正銀行 加茂名支店
普通預金 8537984 日本赤十字社徳島県支部
 - ・ゆうちょ銀行・郵便局
口座番号 00150-7-325411
口座加入者名 日赤令和6年能登半島地震災害義援金
- ※振込手数料は無料（但し、ATMおよびインターネットバンキングは有料）
※他行からの振込は有料